

第28回岩手県ラージボール卓球大会開催要項

- 1 主催 岩手県卓球協会
- 2 主管 岩手県ラージボール委員会 / 北上市卓球協会
- 3 後援 北上市/北上市体育協会/日本卓球株式会社/岩手日報社/
岩手日日新聞社/北上ケーブルテレビ
- 4 日時 平成29年5月20日(土) 8時半開場 9時受付 9時半開会式
平成29年5月21日(日) 8時開場 8時半受付 9時試合開始
- 5 会場 北上総合体育館 北上市相去町高前檀27-36 ☎ 0197-67-6720
- 6 競技種目 **【5月20日(土)】**
 - ①混合ダブルスの部
混合ダブルス80(合計80歳以上) 混合ダブルス100(合計100歳以上)
混合ダブルス120(合計120歳以上) 混合ダブルス130(合計130歳以上)
混合ダブルス140(合計140歳以上)
 - ②団体の部(5組混合ダブルス戦)
(1番50歳以上・2番60歳以上・3番合計130歳以上・4番合計80歳以上・
5番合計100歳以上の順で行う)**【5月21日(日)】**
 - ③男・女ダブルスの部
男子ダブルス80(合計80歳以上) 女子ダブルス80(合計80歳以上)
男子ダブルス100(合計100歳以上) 女子ダブルス100(合計100歳以上)
男子ダブルス120(合計120歳以上) 女子ダブルス120(合計120歳以上)
男子ダブルス130(合計130歳以上) 女子ダブルス130(合計130歳以上)
男子ダブルス140(合計140歳以上) 女子ダブルス140(合計140歳以上)
 - ④男・女シングルの部
男子シングルス40(40歳以上) 女子シングルス40(40歳以上)
男子シングルス50(50歳以上) 女子シングルス50(50歳以上)
男子シングルス60(60歳以上) 女子シングルス60(60歳以上)
男子シングルス65(65歳以上) 女子シングルス65(65歳以上)
男子シングルス70(70歳以上) 女子シングルス70(70歳以上)
男子シングルス75(75歳以上) 女子シングルス75(75歳以上)
男子シングルス80(80歳以上) 女子シングルス80(80歳以上)
男子シングルス85(85歳以上) 女子シングルス85(85歳以上)

※各種目とも参加者が5人未満の場合は下の年代に変更になる場合があります

- 7 参加資格
- 1) 平成29年度(公財)日本卓球協会に登録した者であること
(登録の有無は、指定ゼッケンの着用で確認する)
 - 2) 40歳以上の岩手県内に在住または勤務をする者
 - 3) 全種目に出場できる(但し、同一種目の重複出場は不可)
 - 4) 年齢要件は次のとおりとする
 - 40歳以上は、昭和53年4月1日以前に誕生した者
 - 50歳以上は、昭和43年4月1日以前に誕生した者
 - 60歳以上は、昭和33年4月1日以前に誕生した者
 - 65歳以上は、昭和28年4月1日以前に誕生した者
 - 70歳以上は、昭和23年4月1日以前に誕生した者
 - 75歳以上は、昭和18年4月1日以前に誕生した者
 - 80歳以上は、昭和13年4月1日以前に誕生した者
 - 85歳以上は、昭和8年4月1日以前に誕生した者
- 8 競技ルール 現行の新卓球(ラージボール)ルールを適用する
- 9 競技方法 各ブロック毎に予選リーグを行い(団体戦は5番目まで行う)、上位1位と2位による決勝トーナメントを行う。混合ダブルスと男女ダブルスについては下位3位と4位による敗者トーナメントも行う
(注)出場者数により決勝リーグ戦方式で行う場合あり
- 10 試合球 ニッタクラージボール44+(プラスチック製)
- 11 表彰 各書目とも第三位まで表彰する
- 12 参加料 団体戦7,000円, シングルス2,000円, ダブルス3,000円
- 13 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、参加料を添え現金書留にて下記申込み先へ御送付下さい
- 申込締切 3月31日(金) 必着厳守**
- 14 申込先 〒024-0012 北上市常盤台三丁目3-35 FAX 0197-64-3650
(問合せ先) 岩手県ラージボール卓球大会事務局 吉田雅子
- 15 その他
- 1) 昼食(お弁当)を一個600円で斡旋しますので、必要な方は参加申込書の(1)へ個数を記入し、代金を参加料と一緒に現金書留にてご送金ください
 - 2) 参加申込書(3)、(4)は組合わせの際に切り離して使用するため、
「氏名」「所属」の欄は、面倒でもそれぞれきちんと**楷書で記入し**、
省略記号の『#』は**使用しない**でください
 - 3) 大会当日に、会場での県登録申請手続きは**できません**ので、参加選手は、
あらかじめ登録を済ませておくことを、お願いします
 - 4) 予選リーグは相互審判とし、決勝トーナメントの第1回戦は次の試合の
選手(指名いたします)が行い、第2試合以降は敗者審判とします